

補助事業番号 26-2-034

補助事業名 平成26年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

近代以前には差別的な取り扱いを受けることも多く、極めて限られた職業に押し込まれていた視覚障害者ですが、自助努力により学習環境を整備し、職域を拡大してきました。その際に、大きな原動力となったのが、視覚障害者の生活文字である「点字」です。

本事業では、そのような視覚障害者の職業自立について啓発するとともに、点字による専門書を作成できる点訳者を育成することで、視覚障害者がより高度な、専門的な教育を受け、職業的に自立した生活を送れるよう支援することを目的としています。

### (2) 実施内容

開講式を兼ねた講演会 (<http://www.siencenter.or.jp/kouza/kouza-23.html>)

専門点訳者実践養成講座の受講生に限らず、広く一般にも開放して講演会を開催しました。講演者は、ヴァイオリニストとして世界的に活躍する和波孝よし氏（全盲）で、テーマはまさに「点字は私の宝物」。自身の半生をふり返り、キャリアを形成する上で点字と点字楽譜がいかに重要であったかを説きました。



和波孝よし氏の講演には、音楽ファンも含めて多くの来場者があった



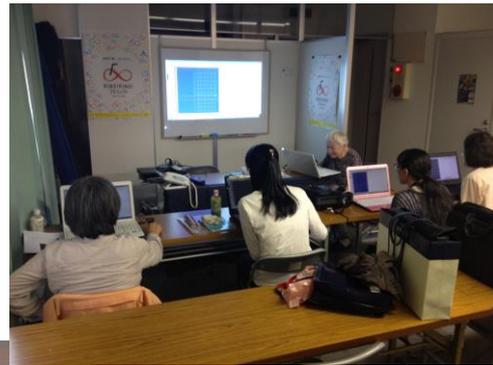
自身の半生をふり返りながら、点字と点字楽譜の重要性を説く和波氏

専門点訳者実践養成講座 (<http://www.siencenter.or.jp/kouza/kouza-23.html>)

現在、多くの点訳者が、視覚障害者に点字の本を提供すべく活躍をしています。しかし、点字の知識・技能は人それぞれですし、高等教育のテキストなどに必要な専門的な知識は誰もが持っている訳ではありません。本講座では、日本語初級・日本語上級・英語・音楽・理数・邦楽・応用（触図）の7科目を開講。入門者からベテランまで、それぞれの力量と専門性に応じた学習の場を提供し、視覚障害者の学習環境整備や職業的自立に必要な点字図書を製作できる点訳者を養成・輩出しています。



人気講座「応用（触図）」では、点を使った図「点図」の描き方を学習



ビジュアル化の進む教科書等に対応するためパソコンを使って点訳



視覚障害者の伝統的な職業である邦楽の点字楽譜を実演により指導



点訳者としてステップアップするための「日本語上級」はリピーターが多い

競い合い、助け合う コンサート2014——羽ばたけ視覚障害音楽家たち

(<http://www.siencenter.or.jp/ongaku/ongaku26.html>)

本コンサートは、視覚障害音楽家の活躍を広めるとともに、主に若い視覚障害音楽家に活躍の場を提供することも目的としています。

本年は双子のピアニストの木村りえ・木村りさ氏（全盲）、ソプラノの川端みき氏（全盲）、津軽三味線の踊正太郎氏（全盲）、コール・トゥインクルスター（女声コーラス）と全盲の三好明子氏（ピアノ伴奏）をお迎えしました。



全盲の双子の姉妹、りえ・りさ Duo は息のあった連弾を披露



津軽三味線の第一人者・踊正太郎氏（全盲）の熱演と軽妙なトーク



初登場となったソプラノの川端みき氏（全盲）と伴奏の三好明子（全盲）



毎年恒例の賛助出演コール・トゥインクルスターは懐かしの名曲からポップスまで



## 2 予想される事業実施効果

本事業は、講演会・講座・コンサートを組合せることで、視覚障害者に関する幅広い理解と支援を広げることを目指す類例のないものです。

今回の講演会では、世界的に活躍する和波氏をお迎えすることで、視覚に障害を持って職業的に自立するばかりか、健常者に負けない活躍が可能だということを来場者に示していただきました。また、和波氏の活躍には、「点字」が大きな原動力となっている点も、本事業の趣旨に沿ったもので、視覚障害者に対する支援の在り方を効果的に広めることができました。

一方、専門点訳者実践養成講座は、実際の点訳の技能を磨くもので、点訳者の団体などにも恒例の事業として知られつつあります。日本語初級はもちろん、初めて受講される方も少なくありませんが、2度3度と受講されるリピーターが多いことは、本講座の特徴です。非常に奥深い点字の世界ですから、ベテランの点訳者といえども日々の学習が欠かせず、継続的な開催を求める声が多くありません。

コンサートでは、主に若い視覚障害音楽家に活躍の場を提供し、その理解を促しています。来場者には全国の福祉施設等の関係者も多く、本コンサートへの出演が今後の活躍のチャンスへとつながっています。

## 3 本事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

演奏会チラシ	2, 000部
演奏会チラシ(点字版)	200部
演奏会プログラム	600部
演奏会プログラム(点字版)	200部

### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

特にありません。

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター

(シャカイフクシハウジン シカクショウガイシャシエンソウゴウセンター)

住所： 〒167-0043

東京都杉並区上荻2丁目37番10号 Keiビル

代表者： 理事長 高橋 実(タカハシ ミノル)

担当部署：

担当者名： 星野 敏康(ホシノ トシヤス)

電話番号： 03-5310-5051

F A X : 03-5310-5053

E - m a i l : [mail@siencenter.or.jp](mailto:mail@siencenter.or.jp)

U R L : <http://www.siencenter.or.jp/>